

## 1 豚熱等対策実施マニュアル（以下、マニュアル）作成の経緯

本県では、平成30年9月に国内で26年ぶりとなった豚熱の発生を踏まえ、同年12月に愛知県豚コレラ対策実施要綱（以下、豚コレラ要綱）を策定し、知事をトップとした全庁体制で、県及び地域の防疫部会が連携した対応を進めていくこととした。

平成31年2月に愛知県で1例目となる豚熱が発生して以降、18例の発生があり、疫学関連農場を含め47農場、約6万5千頭の豚を殺処分した。その対応を進めていくうち、防疫資機材の確保や交差汚染防止等、豚コレラ要綱に明記されていなかったことに起因して防疫活動が滞ることがあり、その都度工夫して対応した結果、豚コレラ要綱の改正が必要となった。

豚熱の発生が沈静化した令和2年3月に、全庁から意見を聴取し、同年4月に愛知県豚熱等対策実施要綱（以下、豚熱要綱）として改正した。改正にあたっては、アフリカ豚熱の対応を盛り込むとともに、基本方針や組織体制など不変的な項目と、防疫活動の支障となった課題への対応方針を示すにとどめた。

一方で、発生経験を活かした詳細な対応は、今後想定される課題への対策も加え、機動性や柔軟性をもたせたマニュアルとして新たに作成することとした。

## 2 マニュアルの概要

令和2年12月に豚熱要綱改正と合わせて、マニュアルを別に定めた。

マニュアルでは、家畜防疫員以外の防疫活動従事者にも作業内容を理解しやすく、自発的に活動できるように、写真や図を多く盛り込み、専門的な用語はわかりやすく表現することに配慮した。

また、豚熱要綱では明記のなかった複数班が連携して対応すべき内容を「各班共通事項」として整理し、以下の(1)～(6)等を記載した。このほか、今後想定される課題等については、(7)、(8)等を盛り込んだ。

### (1) 地域防疫部会の人員不足の解消

各地域防疫部会において部会の役割を担うために人員が不足する場合は、他地域

### 【参考】マニュアルの構成

■ 第1章	本マニュアルの目的	
■ 第2章	防疫活動の概要	
■ 第1	防疫部会の活動等	
■ 第2	豚熱（CSF）発生時の部会活動の概要	
■ 第3	アフリカ豚熱（ASF）発生時の部会活動の概要	
■ 第3章	各班共通事項	
■ 第1	動員全般	新型コロナウイルス感染症対策
■ 第2	発生農場等におけるゾーニング	
■ 第3	防疫資材の供給・受入・管理及び連絡体制	
■ 第4	自衛隊派遣時の防疫対応	
■ 第5	暑熱期の防疫活動	
■ 第6	防疫作業者の健康管理	
■ 第7	アフリカ豚熱（ASF）の予防的殺処分	
■ 第4章	各班手順書	
■ 第1	愛知県豚熱等防疫部会	新型コロナウイルス感染症対策 レンタリングの手引き
■ 第2	愛知県地域豚熱等防疫部会	

防疫部会等から補完できることとした。

(2) 交差汚染防止対策【資料1】

ウイルス汚染のリスクに応じて3つのカテゴリーに分類し、場所ごとの対応を明示。

(3) 防疫資機材の確保及び管理方法【資料2】

防疫資機材の供給、受入及び管理に係る担当者の連絡体制等を視覚的に明示。また、新型コロナウイルス感染症対策資材の種類と用途及び準備状況等を明示。

(4) 自衛隊派遣時の対応方法

自衛隊派遣時の県及び地域防疫部会の担当者や連絡体制及びベースキャンプの運営方法を明示。

(5) 防疫作業者の健康管理関係  
救護所の設置、運営方法や看護師の派遣に係る調整方法等を明示。

(6) アフリカ豚熱の対応

予防的殺処分への対応及び実施方法を明示。

(7) 新型コロナウイルス感染症対策

「新型コロナウイルス感染症対応の手引き」を作成し、役割や対応方法を示すとともに防疫作業者の交代時に消毒期間を設けることを明示。

(8) 移動式レンダリング装置の活用方法【資料3】

「レンダリングの手引き」を作成し、県及び地域防疫部会の担当者や人員配置及び作業手順を明示。

【資料1】 交差汚染防止対策

【図1】 発生農場等周辺のゾーニング

汚染ゾーン：発生農場  
グレーゾーン：農場内消毒ポイント～長靴履替場所  
清浄ゾーン：現場詰所

《作業開始時：現場詰所→発生農場》  
①移動用サンダルを脱ぎ、すのこ等を通して長靴に履き替える  
②ガムテープで長靴と防疫服の隙間を目張りする  
→発生農場へ

《作業終了時：発生農場→現場詰所》  
③農場内消毒ポイントで全身を消毒する  
④内側の防疫服以外の装備を脱いで フレコンバッグに捨てる  
⑤長靴を水槽で洗い、消毒槽で消毒後、手指消毒をする  
⑥グレーゾーンで内側の防疫服を脱ぐ  
⑦長靴履替場所まで長靴を脱ぎ、手指消毒をし、マスクを着用  
⑧移動用サンダルに履き替える

写真：長靴履替場所（例）。布テープで矢印を示すことで動線を明示。  
ブルーシート、すのこを活用してグレーゾーンからのウイルス持ち出しを防止。

【資料2】 防疫資機材の確保及び管理方法

ベースキャンプ（BC）における業務  
主な業務内容

時期	役割分担	
	BC副長	班員
①初動時	班員への指示	初動資材の受入 施設内への配置（設置）
②防疫措置中	班員への指示 現場詰所G長へ在庫状況の報告 現場詰所G長へ不足資材の調達	班員への資材配付 BCの運営 在庫の確認 在庫状況を副長へ報告
③撤収時	班員への指示 撤収資材一覧の報告 引取業者の立ち合い 施設管理者と原状復帰の確認	撤収資材の整理 撤収資材一覧の作成 清掃・消毒

在庫確認及び報告  
班員、BC副長、事務所、総務広報班（地域）、現場詰所G長  
定期的に在庫を確認し、在庫一覧表を作成のうえ、総務広報班（地域）現場詰所G長に報告する。

連絡体制

不足分の発注依頼  
班員、BC副長、現場詰所G長、事務所、総務広報班担当副班長、業者  
不足が予想される場合は、現場詰所G長に調達を依頼する。  
（現場詰所G長は総務広報班担当副班長を通して業者に資材を発注する）

3 マニュアルによる防疫体制の強化とその効果

防疫活動従事者が防疫活動時の課題と、その対応方法等をしっかりと理解しておくため、行政及び民間事業者等を参集した県域防疫研修会（参加者198名）を開催し、現

